

各位

会 社 名:株式会社イノベーション

代表者名:代表取締役社長CEO兼COO富田直人

(コード番号:3970 東証マザーズ)

問 合 せ 先:取締役 CFO 山﨑 浩史

(T E L: 03-5766-3800)

(訂正・数値データ訂正)「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2020年5月25日に発表した「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に 訂正すべき事項がありましたので下記の通りお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので訂 正後の数値データも送信します。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

2020年5月25日の発表後に、連結計算書類の作成過程において一部訂正すべき事項が判明いたしましたので、2020年3月期 決算短信を訂正させていただくものであります。

2. 訂正の内容

サマリー情報

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

【訂正前】

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	47. 21	46. 77	9.9	13. 1	8.6
2019年3月期	4.54	4. 47	1.0	1.7	1. 1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

【訂正後】

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	47. 21	46. 77	<u>10. 2</u>	13. 1	8.6
2019年3月期	4. 54	4. 47	1.0	1.7	1. 1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

サマリー情報

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(2) 連結財政状態

【訂正前】

	····-			
	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	1, 320	934	70.8	<u>467. 66</u>
2019年3月期	1, 115	868	77.8	442. 26

(参考) 自己資本 2020年3月期 934百万円 2019年3月期 868百万円

【訂正後】

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	1, 320	934	70.8	<u>478. 96</u>
2019年3月期	1, 115	868	77.8	442. 26

(参考) 自己資本 2020年3月期 934百万円 2019年3月期 868百万円

添付資料 2ページ

1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況

【訂正前】

(オンラインメディア事業)

オンラインメディア事業の主力である「ITトレンド」においては、当連結会計年度の来訪者数(延べ人数)(注1) は集客施策等へ積極的な投資を行ったことにより Google の検索結果の表示順位が上昇したこと、当第4四半期においてテレワーク関連カテゴリーの検索からの来訪が増加したことにより、7,088,039人(前年同期比92.8%増)となりました。以上の結果、オンラインメディア事業の売上高は1,692,733千円(前年同期比44.0%増)、セグメント利益は549,371千円(前年同期比63.6%増)となりました。

- (注) 1. 当社が定める来訪者数(延べ人数)とは、アクセス解析ツール「Google アナリティクス」(注2)における「セッション数」(注3)を指しています。
- (注) 2. 「Google アナリティクス」とは、Google LLC (グーグル) が無料で提供する Web ページのアクセス 解析サービスです。
- (注) 3. 「セッション数」とは、「Google アナリティクス」における「セッション」を指しています。「セッション」とは、特定の期間にWebサイトで発生した一連の操作のことです。

(セールスクラウド事業)

セールスクラウド事業の主力製品である「List Finder」においては、提携会社による販売の打ち切り等により、当連結会計年度末のアカウント数は 483 件(前年同期比 38.1%減)にとどまったものの、アカウント当たりの単価は大幅に上昇いたしました。また、基盤システムの大型アップデート、新機能の追加開発等に費用を投じた結果、セールスクラウド事業の売上高は 329, 313 千円(前年同期比 6.5%増)、セグメント利益は 68,674 千円(前年同期比 26.3%増)となりました。

【訂正後】

オンラインメディア事業の主力である「ITトレンド」においては、当連結会計年度の来訪者数(延べ人数)(注1)は集客施策等へ積極的な投資を行ったことにより Google の検索結果の表示順位が上昇したこと、当第4四半期においてテレワーク関連カテゴリーの検索からの来訪が増加したことにより、7,088,039人(前年同期比 $\underline{44.1}$ %増)となりました。以上の結果、オンラインメディア事業の売上高は1,692,733千円(前年同期比 $\underline{44.0}$ %増)、セグメント利益は $\underline{558,646}$ 千円(前年同期比 $\underline{66.3}$ %増)となりました。

- (注) 1. 当社が定める来訪者数(延べ人数)とは、アクセス解析ツール「Google アナリティクス」(注 2)における「セッション数」(注 3)を指しています。
- (注) 2. 「Google アナリティクス」とは、Google LLC (グーグル) が無料で提供する Web ページのアクセス 解析サービスです。
- (注) 3. 「セッション数」とは、「Google アナリティクス」における「セッション」を指しています。「セッション」とは、特定の期間に Web サイトで発生した一連の操作のことです。

(セールスクラウド事業)

セールスクラウド事業の主力製品である「List Finder」においては、提携会社による販売の打ち切り等により、当連結会計年度末のアカウント数は 483 件(前年同期比 3.4%増)にとどまったものの、アカウント当たりの単価は大幅に上昇いたしました。また、基盤システムの大型アップデート、新機能の追加開発等に費用を投じた結果、セールスクラウド事業の売上高は 329, 313 千円(前年同期比 6.5%増)、セグメント利益は 69,923 千円(前年同期比 28.6%増)となりました。

添付資料 7ページ

- 3. 連結財務諸表及び主な注記
- (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

【訂正前】

(単位:千円)

		(十四・11)
	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 2018年4月1日	(自 2019年4月1日
	至 2019年3月31日)	至 2020年3月31日)
営業外費用		
支払利息	457	242
創立費	355	220
支払手数料	175	451
投資事業組合運用損	_	1, 380
<u>その他</u>	56	298
営業外費用合計	1, 044	2, 592

【訂正後】

(単位:千円)

		(11=-114
	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 2018年4月1日	(自 2019年4月1日
	至 2019 年 3 月 31 日)	至 2020年3月31日)
営業外費用		
支払利息	457	242
創立費	355	220
支払手数料	175	451
投資事業組合運用損	_	1, 380
<u>雑損失</u>	56	298
営業外費用合計	1, 044	2, 592

添付資料 10 ページ

- 3. 連結財務諸表及び主な注記
- (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位:千円)

		(十一)
	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 2018年4月1日	(自 2019年4月1日
	至 2019 年 3 月 31 日)	至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,729	△5, 266
無形固定資産の取得による支出	△35, 804	△54, 429
有価証券の取得による支出	-	△50,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 による支出	_	\triangle 72, 746
その他	617	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38, 917	△182 , 443

(単位:千円)

		(+ <u>u</u> ,
	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 2018年4月1日	(自 2019年4月1日
	至 2019年3月31日)	至 2020 年 3 月 31 日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3, 729	△5, 266
無形固定資産の取得による支出	△35, 804	△54, 429
投資有価証券の取得による支出	_	△50, 000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 による支出	_	△72, 746
その他	617	<u>=</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38, 917	△182, 443

添付資料 12ページ

- 3. 連結財務諸表及び主な注記
- (5) 連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)(セグメント情報)
- 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報 当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

【訂正前】

(単位:千円)

	幸	3告セグメント				財務諸表
	オンライン メディア事業	セールス クラウド 事業	計	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	1, 692, 733	329, 313	2, 022, 046		_	2, 022, 046
セグメント間の内部						
売上高又は振替高						
計	1, 692, 733	329, 313	2, 022, 046			2, 022, 046
セグメント利益	<u>549, 371</u>	<u>68, 674</u>	<u>618, 046</u>		<u>△443, 440</u>	174, 605
セグメント資産	145, 737		145, 737	_	23, 138	<u>168, 876</u>
その他の項目						
減価償却費	<u>22, 001</u>	_	<u>22, 001</u>		<u>4, 424</u>	26, 425
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	<u>128, 167</u>	_	128, 167	_	10, 343	<u>138, 511</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業であります。
 - 2. 調整額の内容は以下のとおりであります。
 - (1) セグメント利益の調整額 \triangle 443,440 千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用 は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額23,138千円は、主に報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。
 - (3) その他の項目の減価償却費の調整額 4,424 千円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額 10,343 千円は、セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
 - 3. セグメント利益は損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【訂正後】

(単位:千円)

	幸	報告セグメント]	
	オンライン メディア事業	セールス クラウド 事業	計	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	1, 692, 733	329, 313	2, 022, 046		_	2, 022, 046
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	_	_	_	_
計	1, 692, 733	329, 313	2, 022, 046		_	2, 022, 046
セグメント利益	558, 646	<u>69, 923</u>	<u>628, 569</u>	_	<u>△453, 964</u>	174, 605
セグメント資産	145, 737		145, 737		1, 174, 910	1, 320, 647
その他の項目						
減価償却費	<u>18, 452</u>	_	<u>18, 452</u>		<u>7, 972</u>	26, 425
のれん償却費	<u>3, 548</u>	_	<u>3, 548</u>		_	<u>3, 548</u>
減損損失	<u>4,872</u>	_	<u>4,872</u>		_	<u>4,872</u>
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	<u>122, 800</u>	_	<u>122, 800</u>	_	10, 343	<u>133, 144</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業であります。
 - 2. 調整額の内容は以下のとおりであります。
 - (1) セグメント利益の調整額 \triangle 453,964 千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額 1,174,910 千円は、主に報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております
 - (3) その他の項目の減価償却費の調整額 7,972 千円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額 10,343 千円は、セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
 - 3. セグメント利益は損益計算書の営業利益と調整を行っております。

添付資料 13ページ

- 3. 連結財務諸表及び主な注記
- (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (1株当たり情報)

【訂正前】

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 2018年4月1日	(自 2019年4月1日
	至 2019年3月31日)	至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	442.26 円	<u>467. 66</u> 円
1株当たり当期純利益	4. 54 円	47.21 円
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	4.47円	46.77円

【訂正後】

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 2018年4月1日	(自 2019年4月1日
	至 2019年3月31日)	至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	442.26 円	<u>478. 96</u> 円
1株当たり当期純利益	4.54円	47.21 円
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	4.47円	46.77 円

以上